塩作りや漁業を中心に生活していた上下浜

- 昔の上下浜は、砂浜なことから田や畑が少なく塩作りや漁業に頼って生活をしていた。

- 中でも塩は大きな収入になっていたことから塩作りは盛んだった。

塩田

海水を塩釜に入れる前に、濃度を上げるために砂浜にまいた場所です。天日で水分が蒸発し、塩が砂にこびりつきます。その砂を集めて上からさらに海水をかけて濃度を上げました。

塩釜

濃度を上げた海水を煮流と水分が蒸発し、塩ができます。

塩の専売制度と塩作りの禁止

- 塩が政府の専売となり、半分の値段で買い取られることになった。
- 瀬戸内の塩田を保護するために、各地の塩作り禁止した。
- とった魚を長持ちさせるため、たくさんの塩を必要としていた漁師は、塩を逆に買わなければいけなくなった。
- 日本海沿岸では、専売制度で廃業する漁師さんたちが続出した。